

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001421010 下水道課経営係

事務事業 03093 下水道維持管理事業

電話番号 0566-71-2247

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	002	1 3 住環境			
施策の取組	004	良好な水環境の実現			
事務事業	001	下水道維持管理事業			
事業期間	平成 5年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	下水道事業	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	下水道法、浄化槽法ほか				
備考	平成31年度に下水道事業を企業会計に移行したことにより、事務事業を下水道維持管理事業、下水道建設改良事業に再編しました。				

【事業分析】

対象	下水道使用者が
目的	安全・安心な下水道サービスを継続して受けることができます。
手段	下水道施設の計画的な点検及び維持管理を行い、その機能を保持するとともに、接続率の向上を図ります。
事務内容	汚水管路等施設管理、事業場排水管理、接続促進、水洗便所改造融資あっせん、雨水貯留施設設置促進など

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	3,011,888	3,038,185	3,301,819
事業費	2,959,088	2,971,185	3,231,819
国庫支出金	7,500	18,545	15,900
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	996,202	993,300	958,893
一般財源	1,955,386	1,959,340	2,257,026
人件費計	52,800	67,000	70,000
正規（人）	8.00	10.00	10.00
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	下水道使用料調定額 1,612,714千円 【運転・監視・点検】 管渠、広美中継ポンプ マンホールポンプ、福 釜浄化センター 一式 【排水水質検査】 特定事業場 34箇所	下水道使用料調定額 1,679,765千円 【運転・監視・点検】 管渠、広美中継ポンプ マンホールポンプ、福 釜浄化センター 一式 【排水水質検査】 特定事業場 33箇所	下水道使用料調定額 1,923,734千円 【運転・監視・点検】 管渠、広美中継ポンプ マンホールポンプ、福 釜浄化センター 一式 【排水水質検査】 特定事業場 22箇所

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月10日
11時53分36秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001421010 下水道課経営係
事務事業 03093 下水道維持管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
下水道接続人口	人	146,000.00 145,569.00	0.00 146,386.00	151,000.00 0.00
管路損傷、ポンプ場、マンホールポンプ、浄化センター事故件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
下水排水基準を超過した事業場	箇所	0.00 5.00	0.00 3.00	0.00 0.00
接続促進活動（通知・訪問）	件	2,500.00 2,300.00	0.00 2,616.00	2,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市が整備した施設であり、他事業主体が行うべきではありません。		
2	必要性	市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	下水道への接続により、生活環境の改善を図ることができます。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	接続人口は増加しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	施設等の維持管理を民間事業者に委託し、効率化を図っています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他の自治体においても、同様の維持管理を行っています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	下水道施設に起因する道路陥没等による事故を防止するために、定期的な点検を継続していきます。 また、整備した下水道を有効なものとするため、接続人口が増加するように、継続して下水道接続促進活動を行っていきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁

令和 7年11月 5日
17時16分40秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001421010 下水道課経営係
事務事業 03094 下水道建設改良事業

電話番号 0566-71-2247

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	002	1 3 住環境			
施策の取組	004	良好な水環境の実現			
事務事業	002	下水道建設改良事業			
事業期間	昭和49年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	下水道事業	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	下水道法、浄化槽法ほか				
備考	平成31年度に下水道事業を企業会計に移行したことにより、事務事業を下水道維持管理事業、下水道建設改良事業に再編しました。				

【事業分析】

対象	下水道計画区域内の住民・事業者が
目的	下水道整備により下水道が使えるようになり、衛生的な生活環境への改善を図ることができます。
手段	下水道の整備により、供用区域を拡大し、普及率の向上を図ります。併せて、大規模地震の発生に備え、下水道施設の耐震化を進めます。
事務内容	汚水管路整備、下水道耐震化など

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	3,061,861	2,837,519	3,437,728
事業費	3,002,461	2,770,519	3,360,728
国庫支出金	445,508	350,994	543,910
県支出金	0	0	0
地方債	824,100	827,600	1,041,500
その他	377,000	185,000	389,898
一般財源	1,355,853	1,406,925	1,385,420
人件費計	59,400	67,000	77,000
正規（人）	9.00	10.00	11.00
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	【下水道築造工事】 赤松、福釜南及び和泉 中工区 【路面復旧工事】 赤松、箕輪福釜、福釜 南及び和泉北工区	【下水道築造工事】 赤松、福釜南及び南明 治区画工区 【路面復旧工事】 赤松、福釜南及び和泉 中工区	【下水道築造工事】 赤松、福釜荒子及び南 明治区画工区 【路面復旧工事】 赤松及び福釜南工区

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001421010 下水道課経営係
事務事業 03094 下水道建設改良事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
供用開始面積	ha	35.30	0.00	20.40
		33.90	27.50	0.00
下水道普及率	%	84.00	0.00	85.30
		83.20	83.90	0.00
マンホール浮上防止等 耐震化率 N = 51基	%	100.00	0.00	100.00
		100.00	100.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	市が整備する施設であり、他事業主体が行うものではありません。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	下水道を整備することにより、住みやすくなります。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由	目標を達成するため、工事の早期発注及び早期完了を行います。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	施設の最適化により、コストの縮減を図っています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	事業規模や整備状況は、全国平均と概ね同等です。				

【 1 次評価結果 】	
事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	住居系の市街化区域の整備が概ね完了したため、投資効果の高い人口が集中している住居系の市街化調整区域の整備を進めます。

【 2 次評価結果 】	
事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。